

1 開催日時

令和6年11月21日(木) 13時30分～14時45分

2 開催場所

上市町役場 4階 大ホール

3 出席者

小竹会長、中松委員、松崎委員、駒井委員(代理 細川様)、小竹委員、石橋委員、新開委員、柿谷委員、猪井委員、村上委員、前原委員、白井委員、高橋委員、吉田委員、景山委員、廣井委員、有田委員(代理 北川主事)、小池委員、黒田委員、酒井委員、平井委員 計21名

事務局 碓井企画課長、青木課長代理、嘉藤課長代理、真貝主任
(福祉課 澤野主幹、教育委員会事務局 松井係長)

4 欠席者

安達委員、牧野委員、中田委員、井上委員

5 次第及び協議内容

- (1) 開会
- (2) あいさつ(小竹会長)
- (3) 協議事項

協 議

- ① 上市町営バス乗車料金の変更及び支払方法の追加について
- ② 次期計画(上市町地域公共交通計画)の策定について

<質疑応答>

会長 事務局 会長	協議事項1(資料1)について事務局より説明をお願いします。 資料1説明 高校生以下の料金について、上市町地域公共交通網形成計画の中で上市高校口に新たにバス停を設置したとことである。私も通勤時に見かけるのだが、通学時に5～6人は利用しているようである。もう少し乗っていただくために料金の低減を提案した。中学校も義務教育学校に統合という流れもあり、町営バスを使いたくなる可能性があると考え、若い世代の利便性を考慮した。キャッシュレス決済についても、若い世代が中心になるかも知れないが、気軽に乗っていただければと思い、料金低減とあわせて実施することとした。質問や意見などご発言いただきたい。
委員	料金低減を試されるのは新しい取り組みで良いと思う。特に支払方法の工夫も良いと思う。週末に学会で議論してきたところである。料金を下げることは重要であるが、そのような施策の実施前後の効果の把握を行っていただきたい。収支率で追えるとは思わない。料金を下げたらどれくらい利用が増えるかというには分からないところがあるので、きちんと評価をしていただき、効果が出なかったからすぐやめるといふのではなく、広報等もしていただき、収支の変化と利用者数の変化の評価・結果を見直しに使用していただければと思う。
委員	以前、高校入口に停留所を新設いただき、感謝している。駅から高校まで1.2キロである。1.2キロという距離は、バスに乗ろうか歩こうかと迷う距離である。200

	<p>円の時は利用のハードルが高かったと思うが、100円となった場合に、乗ってみようかという生徒が増えると思うので、学校としては助かる。入学生も含め保護者に広報していこうと思う。</p>
事務局	<p>貴重なご意見ありがとうございます。効果把握についてはご指摘の通りと考えている。料金低減による利用者増加の効果を期待しており、実績を確認しその後の施策に活かしていきたい。</p>
委員	<p>大学生についてであるが、大学生も学生であるが、大学生は現金・回数券・1日乗車券の場合は今回の料金半額の対象とはならず、定期券の時のみ対象となるという理解でよいか。</p>
事務局	<p>ご発言のとおりである。以前から、大学生については、学生であっても大人という扱いをしてきた。定期券については通学に対する支援と考え、大学生も含めている。</p>
会長	<p>できれば、よく利用される方は、思い切って定期を買ってほしいという思いもある。</p>
副会長	<p>大人の運賃を200円から100円にしてはどうかという意見をしたい。先日、金沢を訪れた際、100円バスが運行しておりたくさん乗車されていた。また、先日、高齢者の会の集まりがあり、このような会議があると話したところ、高齢者の方から、「200円を100円にしてくれないか。」という意見があった。200円で1人も乗らないのであれば、100円で1人でも利用があった方がよいのではないかと考えた。</p>
会長	<p>金沢市と上市町におけるバスのあり方は少し違うのではないかと前提として思っている。料金を下げることによって、「より乗ろう」と考えて下さる方はいらっしゃると思うが、普段バスを使っている方の大半がご高齢の方である。乗る方してみれば料金低減はよいだろうが、運行している町としては収入が下がることが考えられ、今回は若い世代を対象とした料金低減とした。他の自治体でもこのようなバスを運行しているが、上市町の200円は安い方であると認識している。山間部を通るバスでは500円くらいの市町村も見受けられること等からも今回は、若い方をターゲットとさせていただいた。</p>
委員	<p>高齢者、年金受給者もターゲットとして料金の低減をいただけるとありがたい。</p>
事務局	<p>できるだけ高齢の方へも料金の低減をしたいとは考えているが、利用の大半が高齢者である現実があり、そこまでの料金低減に踏み込める段階ではないと考え、まずは若い方をターゲットとさせていただいた。</p>
会長	<p>ご指摘の意味は十分分かるが、今回は若い人をターゲットとした料金低減を提案させていただくこととしたい。今回の協議事項について賛同いただける方は拍手をお願いしたい。</p>
委員	<p>拍手多数</p>
会長	<p>ありがとうございます。</p> <p>では、協議案件2（資料2）について事務局より説明をお願いしたい。</p>
事務局	<p>資料2説明</p>
会長	<p>質問や意見などご発言いただきたい。</p>
委員	<p>2点お話したい。</p> <p>1点目、追記いただいた資料の2-4の目標3の町の財政負担額についてお話したい。収入は現状より少しでも改善できるとよいが、人件費や燃料費が高騰してきている中で町の財政負担額を現状維持することは難しいのではないかと懸念される。目標年の令和12年までに人件費や燃料費がどう変化するか予測が付かない。具体的な数値目標を私自身も設定しきれていない中ではあるが、現状維持は難しいのではないかとこの感想である。</p>

事務局

もう1点は、取組施策1-3の「スクールバスの利便性向上」についてである。スクールバスは、利便性向上まで踏み込めず、評価指標もカバー率となっており、利便性を向上するというより、スクールバスを供給し、学生の移動手段を確保するという書き方がよいのではないかと。

1点目について、ご指摘の通りであり、目標について事務局としても迷いがあった。5年間の計画であり、今から6年後の想定が難しかった。運輸局からは自治体財政負担額の現状維持や低減を目指す自治体が多いと聞いたこともあり、現状維持と設定させていただいた。

2点目のスクールバスについて、学校の統合により、利便性が低下することを避けることを想定して、利便性を維持する意味でこのような記載としていた。子供たちが必ず学校に通えるという意味ではカバー率は100%であるが、ご指摘の通り、移動の手段の確保という記載でもよいと考える。

委員

1点目は現状維持が難しいと考えた。人件費も燃料費もどのようになるか予測が付かない中で値上がりという仕方がない要因については考察していけばよいと思う。そのような中、目標として現状維持と記載することでよいと思う。

スクールバスについては、事務局からの説明があったように、使えるようにすることが利便性向上であるという考え方も理解できるので、このままの記載で結構であると思う。

会長

補足したい。令和8年4月から学校再編を控えている。元々スクールバスが運行している地域もあるが、スクールバスを運行しなければ通学に不便を来す地域が発生する。また、朝はよいが、帰りの移動手段に課題がある。学童との連携が必要となり、そこをうまく設定できると利便性向上にもつながるかと思うが、ご指摘いただいた言い回しについては慎重に検討したい。運輸局様に関しては事前に意見をいただいているのでよろしいかと。

委員

特にない。

会長

交通事業者さんはどうか。

委員

特にない。

会長

校長先生方はどうか。

委員

スクールバスの利便性向上の前に通学の登下校の足を確実に確保していくことが大事であるというお話があった。現在は、小学生全員が登校に不便を感じないように配慮いただけている。令和8年度4月から町内の陽南小学校と白萩西部小学校の生徒が中央小学校に通うことになると、陽南小学校と白萩小学校の生徒達は今より遠い学校に通学することとなる。今、中央小学校の生徒が使っている弓庄線のバスの運行も引き続き必要となる。離れた地域のバス路線の違う子ども達が1つの始業時刻・終業時刻にうまく通学できるように委員会等で相談を進めていただきながら、学校の運営についても検討していきたいと考えている。

その他に放課後の児童の帰り先についても検討が必要となる。現在、中央小学校の生徒は、生徒288人のうち100人近くが、学校内にある放課後児童クラブに通っている。現在は学校内にあるので、移動については安全性などの心配はしていないが、学校を統合した場合に、陽南小学校と白萩西部小学校の児童の帰宅先がどのようになるかについては多様なニーズがあることが想定されるので、子ども達が放課後も安全に過ごすことができるような配慮をお願いできればよい。

委員

現在、自転車通学をしている生徒が7割である。冬場になり、自転車通学ができなくなると公共交通機関であるバスを利用することになる。迷惑かけないよう指導していこうと思う。いろいろとお気遣いいただき、増便などの対応をしていただいている。現場から、利便性を上げるための細かい意見も聞かれている。細かいことも多いので、ファックスに記載させていただき、中学校からの要望ということにさせていただきたい。

会長

子供たちの移動の手段は確保していきたいが、特に朝、どうしても運転手不足の状況があり、苦勞して運行していただいている実態がある。これを改善するのはなかなか難しい。もしかすると、ダイヤの関係である地区の子は早めに学校に来ていただき、別の地域の子は、始業時刻には間に合うが、多少遅く学校に着くかもしれないという多少のご理解をいただく点はあると考える。この件については、今、運行していただいている地鉄さんなどとも相談させていただきながら、移動の手段は確保していきたいと考える。ご意見ありがとうございます。

委員

通学時の移動についてであるが、朝日町では、島根県を真似、スクールバスを小学校の手前で停車し、お子さんを降ろし、安全な道であるまちなかを学校まで歩いてもらうという実験をしている。子供たちもまちなかを歩くことにより、地域の皆さんに見守られているという効果もある。スクールバスに乗ってしまうと通学路の全部の区間をバスに乗ってしまい、お子さんの徒歩時間が減ってしまうため、このような取り組みをしている。学校は学ぶということが一番の目的であるが、お子さんの体力の確保や地域の見守り、運転手不足解消などの観点でそのような取組をしている地域もある。そのような意図を保護者の皆さんにもご理解いただく必要があるだろう。情報収集をしていただき、よりよい方法を検討いただければと思う。

会長

ありがとうございました。降車場所についても議論が必要であるが、乗車場所をどうするのかという点も議論している。どこかの集合場所までは徒歩でその後はバスで移動するなどの話を教育委員会と話している。貴重なご意見をいただき、ありがとうございました。検討していきたい。

ご意見をいただき、ありがとうございました。委員からいただいたご指摘については事務局と相談しながら検討し、1月のパブリックコメントにつなげていきたい。

以上で予定していた協議事項は終了した。ありがとうございました。

<採決結果>

協議事項1については拍手多数により協議が調った。協議事項2については、いただいた様々なご意見を踏まえて新たな計画策定を進めることとなった。

(4) その他

今後の予定は、1月にパブリックコメントの実施を予定している。パブリックコメントでご意見があった場合は、必要に応じ、協議会を開催する予定である。

なお、本日お配りした資料はもちろん、その他お気づきの点があれば、FAX等でお知らせいただきたい。

(5) 閉会